

都市計画の重要性を問う



大野 則男 議員

質問

勝幡駅前広場計画は、何年度に計画されたのか。また、当時の佐織町の総事業予算は。

経済建設部長

昭和53年に都市計画道路を決定。その後、平成16年3月に基本計画を策定した。予算額は、20億円を計画していた。

市民の使い勝手のいいという基本の考え方で、立派で豪華なものはいらないのでは。

総務部長

基本方針はどこに目線を置くかといえば、市民のみなさんだ。他に職員も使わせてもらうわけだが、「誰もが使いやすい持続可能な庁舎づくり」をコンセプトとしている。スケジュールの修正も必要と考えている。

とうまちづくりは、都市計画が一番重要だ。市長はそのことをどう考えているのか。

市長

将来に向けて次世代のみなさんに負担を少しでも軽くという思いの中で進めている。藤浪駅、斎苑、給食センターと同様にこれからの佐屋駅についても、両方の改札口があった方がいいのかなど、その折に検討してほしい。

一番大事なことは人だと思っ

質問

統合庁舎の図面について、4階が全て議場で多くの住民に認めてもらえるのか。

事業費削減のために議員も執行側も知恵を出し合っている。

総務部長

4階の議場の図面は、議会で十分審議して、意見を集約してほしい。

質問

反省すべき点はし、27年度の完成の基本方針は変えるつもりはないか。

質問

市として都市計画を具体的にどう進めるのか、市長としての考えは。

勝幡地区の総事業費と織田信長メモリアル事業費は、他の地区の計画も合せて進捗状況は。

市長

具体的に何年度に何をというのは持っていない。しかし構想のある計画は、議会と相談し、財政状況を鑑みながら進めなくてはならない。

経済建設部長

勝幡駅周辺整備事業費は、平成23年度までで14億156万円、24年・25年度は7億2千万円。他に、市道20号線道路改良踏切改良で1億5千万円と別に他の市道の工事も予定。信長のモニュメントは4千万円で計画。

佐屋地区は、佐屋駅前の周辺現況調査、立田地区は、ふれあいの里の東側の森川ハス保存田の整備を計画しており、調査後に計画図を作成し、説明会の準備をしている。

